1 2

3

5

6

7

8

西東京市民協働推進センター

平成25年度第5回運営委員会会議録

4 ■開催日時: 平成 25 年 8 月 20 日 (火) 午後 7 時~9 時

■開催場所:イングビル3階 第1、2会議室

■出席委員:有馬委員、久保委員、熊田委員、小嶋委員、坂口委員、田中(紀)委員、田中(友)委員、

田辺委員、富沢委員、豊永委員、中村委員、藤江委員<以上12名、五十音順>

■事務局:内田センター長、北村、丸木地域福祉課長、塚澤主事

9 10

12

16

19

1. 報 告 事 項

11 1. 業務報告について

事務局より、7月の主催事業、ホームページアクセス数、新規登録団体、登録未更新の団体、

13 相談対応状況について説明があった。

14 委員:登録更新しなかった4団体の理由は何か。

15 事務局:活動拠点からゆめこらぼの場所が遠い、人手がなく事務的対応ができない、事実上の活動が休

止した、活動拠点が市内から移転したというのが主な理由である。

17 委員長:主催事業に参加した委員から感想を伺いたい。

18 委員:まちづくり円卓会議に参加した。雰囲気はわきあいあいで、居場所づくりの話し合いが中心で

あった。居場所のイメージに違いがあり、内容のすり合わせなど、これからの合意形成が必要

20 と感じた。

21 委員: ゆめサロンに参加した。東京雑学大学の理事長のお話しの中で、毎週の講義を20年近く開催し

ていると伺い、感心した。発足当初 50 代だったメンバーが今は 70 代になり、新しい世代が入

ってこないという悩みがあり、他団体と共通した課題があることを感じた。

2324

26

31

34

22

25 2.8月以降の事業について

事務局より8月以降の実施事業について説明があった。

27 委員長:市民活動実態調査報告書を公開することについての進捗状況はどうか。

28 事務局:8月末日までに、ゆめこらぼのホームページで公開する予定で体裁の修正を進めている。

29 委員:9月予定の調査・研究事業の内容は何か。

30 事務局:調査・研究事業では、協働を進めるための市民力向上をテーマにしている。8月に三鷹市市民協

働センターに行き、市民力向上に関する企画(前回運営委員会で協議)を説明し、アドバイス

32 をもらった。そこで9月中に、企画の中で対象としているエリアの住民と相談する予定である。

33 委員:住民の意識によって市民活動団体とのつながりが異なってくる。対象住民の特性を明確にして

からヒヤリングした方がよいと考える。

35 委員長:9月予定の広報ネットワークについて説明して欲しい。

36 事務局:協議事項に企画案をあげており、後程説明したい。

37 38

2. 審 議 事 項

- 39 1. 前回の会議録について
- 40 委員:避難所運営ゲームの記述で、「模範解答」というのはどういうことか。
- 41 委員:避難所運営ゲームの参加者がふれあいのまちづくり事業の世話人であったため、日頃から地域
- 42 の課題に問題意識をもっているため、意見交換の場でもそのことを反映して意識の高い意見が
- 43 多かったという旨の発言をした。
- 44 事務局:「模範解答」との表現を修正し、「意識の高さを反映した意見があった」との表現に改める。
- 45 委員長:他に、特に意見はないようなので、確定稿とする。

3. 協議事項

1

- 2 1. NPO 市民活動ネットワークの進め方(案)について
- 3 事務局: NPO 市民活動ネットワークとして構築している子どもネットワークと、団体の課題である広報を ベースにネットワーク化するという2点を提案したい。
- 5 委員長:2点を別々に議論したい。まず、子どもネットワークについて何か意見はないか。
- 6 委員:子育てをテーマに行った行政との懇談会がきっかけで、子育てグループでつながりが必要だと
- 7 いうのが子どもネットワークの始まりである。しかし、まだメーリングリストやネットワーク
- 8 も形だけ出来た段階であり、実質的には機能しているとは言えない状態ではないか。まず組織
- 9 作りが大事であり、この企画案では一部の団体の支援となってしまい、ネットワークとして機
- 10 能するとは思えないので賛成できない。
- 11 委員長:子育てフェスタについても、子どもネットワークの共催ではなく、個別に各団体がフェスタの
- 12 実行委員会に参加しただけと認識している。現段階としては、子どもネットワークの各団体に
- 13 ヒアリングすべきではないか。
- 14 事務局:子どもネットワークが実質的な活動になっていないという危機意識で提案したものである。
- 15 委員長:どこまで事業として関わっていくか、もう少しプロセスを経て、継続してやるのか解消するの
- 16 かを問題としたい。
- 17 委員:子育てのつながりで集まったが、結局、何をしていくのかが決まっていない。全体でやるか、
- 18 バラバラでやるか、何を求めているのか明確になっていない。子育てフェスタへの参加も個別
- 19 であり、メーリングリストもイベント情報が時々くる程度である。
- 20 委員: 今までの評価を出すことも必要であり、問題点が明らかになると思う。
- 21 委員長:問題点の抽出が必要で、強化とか深化とかという段階ではないのではないか。ネットワーク自
- 22 体を続ける必要があるのか、ないのか。あるいは、構築や組立てし直すのか、ニーズに基づい
- 23 て考えるべきである。
- 24 委員:ネットワークには2つのタイプがある。全体が一つとなり組織化した動きの場合と、内部の数
- 25 団体のみで連携した動きをする場合がある。ネットワークとは、それ自体が自由に変化するも
- 26 のではないか。
- 27 委員:現状の子どもネットワークについては、どのような動きをするかという点で、共通認識が図れ
- 28 ていないと思う。
- 29 委員長:ゆめこらぼは、コーディネートしていくことに徹すること。ゆめこらぼと子どもネットワーク
- 30 との話し合いの場がもっと必要であり、会合を重ねていく時期だと思う。
- 31 事務局:ご指摘の点を踏まえて再検討したい。
- 32
- 33 委員長:実態調査で多くの団体が広報を課題としているのはで事実であるが、広報ネットワークとは何
- 34 か。
- 35 事務局:広報を課題とする団体が、同じ課題を抱えている団体同士で広報に関する問題点や解決策のノ
- 36 ウハウを共有するためのネットワークと考えている。
- 37 委員:団体がチラシ、HP等に関する広報の手段がわからないということが団体の問題点であり、そ
- 38 れに対してゆめこらぼが、広報に関する何を企画し実行したいかがよく理解できない。
- 39 委員:団体の普及活動が弱い点はわかるが、ネットワーク化することへのイメージにつながらない。
- 40 対象を絞ってネットワーク化するというのであれば理解できるが、広報とは機能の一つと認識
- 41 しているのでイメージが湧かない。
- 42 事務局:100以上の団体がネットワークとしてまとまることで、効果があるのではないかと考えた。
- 43 委員:前回のアンケート結果について、ひとつは団体で高齢化が進み、何とか若い人に入って欲しい
- 44 ということ。もうひとつが自分たちの広報・宣伝活動の手段がないということだったと思う。
- 45 ネットワークを作ることが解決につながるとは考えにくい。

- 1 委 員:広報ネットワークという呼称ではなく、広報検討委員会、広報の課題を考える会が適している 2 のではないか。
- 3 委 員: 課題を抱えた団体同士で話し合っても、解決策は出ないのではないか。
- 4 事務局: どこに問題があるのかを共有し分析することで、必要な対応策などを検討することができると
- 5 考えた。
- 6 委員長:広報ネットワークについては、もう一度検討をして欲しい。
- 7 事務局:組み直しを検討したい。

9 4 そ の 他

- 10 1 次回運営委委員会
- 11 日時:9月17日(火)19時~21時
- 12 会場:イングビル3階 第1,2会議室